

あなたの挑戦を応援します！ 助成対象企業を紹介いたします。

新市場開拓支援事業 アトリエ工化支援事業



平成20年度の「新市場開拓支援事業」(区内製造業・卸売業が、自社製品の新たな販売市場を開拓する場合の助成事業)、および、「アトリエ工化支援事業」(区内製造業・製造小売業者がものづくりの現場を広く公開するために工房等を改修する場合の助成事業)の、助成対象に決定した企業をご紹介します。

新市場開拓支援事業

独自のネットワークで柔軟な物造り



自社ブランド「RDT」を披露する徳永社長

有限会社クラフトバンクは、国内メーカーより受注した靴やサンダルを製造しているほか、自社ブランド「ローリングダブトリオ(RDT)」のシューズ、ブーツを受注生産してきました。その特徴は、国内外を問わず良い材料を使用し、快適性とモータリ性を両立させた点にあります。今までは、展示会やカタログでの販売のみでしたが、このブランドの販売拡大を目指すべく、今回、新たに店舗を開設し、来店者への直接販売を始めました。「店舗では、お客様にRDTを直に確認していただき、RDTの良さを知っていただきたいと考えています。」代表取締役の徳永社長は語ります。昨年の11月には、この新たな店舗を会場とした展示会を実施し、各方面から好評

を得ました。音楽を愛する徳永さんのこだわりが凝縮している「RDT」。お店自体は、一見分かりづらい浅草の裏通りにありますが、口コミで足を運ぶファンは増え続けています。

幸せを伝える靴作りを目指して

エイチ・カツカフ・

フロム・トウキョウ

台東区小島の台東デザインースピレッジに入居する勝川永一さんは、日本の特色ある皮革と独自の製法を用いたオリジナルティ溢れる高級紳士靴を企画製造しています。

勝川さんが現在取り組んでいるのは、姫路で特別に製作した「ニベ」といわれる特殊な起毛素材を用い、マッケイという製法で作った靴です。今回、ファッションの本場イタリア・ミラノに渡航し、現地のバイヤーに、この特色ある紳士靴を紹介してきました。直接の販売には繋がっていませんが、ぬくもりのある独特な雰囲気を持ったこれらの紳士靴は注目を浴び、世界へのアピールの第一歩として、手ごたえを感じています。



オリジナルデザインの靴を手にする勝川さん

日本製にこだわるがゆえの高価格、輸出業務に関するノウハウがないなどの課題もありましたが、今回の渡航で学んだことを活かして、勝川さんは、エイチ・カツカフ・フロム・トウキョウの紳士靴の素

晴らしさを国内外に発信し続けています。

Bagをお探しなら是非「コケット」へ

コケット

メイドインジャパンにこだわったオリジナル革製品を全国のアパレルセレクトショップに卸していた林きょうこさん。同ブランドのオリジナルアイテムをメインに服飾雑貨も扱うセレクトショップ「Coquette(コケット)」を東上野に出店しました。



Bagと雑貨のアトリエショップを展開する林さん

他店で取り扱われているアイテムのセレクトは、その店舗ごとのバイヤーの手によるもの。そのため、「同ブランドの商品すべてを一堂に見ることのできる場所」が他になかったのだと林さんは言います。卸では対応しきれない色、サイズのバリエーションを店舗で対応し、お客様の満足を得ることを目指しています。また、店舗をデザイナーたちが集う場所としても開放しています。昨年末には、「20Creator's Exhibition」として、オリジナルブランドを持つ20人のデザイナーの手によるアクセサリーの展示販売会を開催し、反響を呼びました。「自分を良く知り、確かな目とユニークさを併せ持つ。そんなチャーミングな女性に持つほしい」と林さんの思いがこもった、素敵なアイテムが揃ったショップの誕生です。

日本の伝統をデザインの世界へ

株式会社ヒロコレッジ

株式会社ヒロコレッジは、アーティスト高橋理子さんがデザインする商品の製造及

び販売を行っている会社です。手ぬぐい、SLEEVE BAG、浴衣等、ファッションからインテリアまで多岐にわたった商品を扱っています。活動を通じ、商品の特性だけでなく、商品にこめられたコンセプトやデザイン性が日本人だけでなく、外国人にも広く受け入れられることを実感した、代表取締役中村裕介さん。今回、現在のアト市場を牽引しているニューヨークに新たな販路を開拓しようとしてリサーチを進めています。



海外販路の開拓を目指すヒロコレッジの皆さん

商品を取扱う場所にもこだわり、「展示会への出展ではなく、有力なバイヤーに個別に営業をしていきたい」という中村さん。マーケティング調査やPRプランの作成などの綿密な準備を進め、ニューヨークでの商談に臨みます。デザイン商品の取扱いで定評のある世界のミュージアムショップをはじめ、著名なセレクトショップに、ヒロコレッジの商品が並び日は、近いかもしれません。

ダイヤモンド買取 株式会社宝正

ダイヤモンド買取 株式会社宝正

近年ジュエリー業界は景気の後退等の影響を受け、厳しい状況が続いています。宝石の卸売をしている(株)宝正は、この状況を打開するため、ダイヤモンドの買取ビジネスを始めました。日本国内には、現在使われずにタンスの中で眠っているダイヤモンドがたくさんあります。ダイヤモンドは、他の色石と違って、カットの仕方さえ古くなければ、中古品でも十分価値があります。使わなくなった宝飾品を消費者から買い取って、再研磨を行い新し

い商品として販売を行うことで、ダイヤモンドも有効活用できます。(株)宝正の強みは、長年卸売をしてきた経験で培ったダイヤモンド(質)のグレイド(質)を的確に見分ける目と、買取後の販売ルートを確保していることです。これらの強みを活かして、お客様に喜ばれる、適正かつ高値の買取が実現できます。



宝石を査定する中戸川社長

宝石を買取に出すことに抵抗がある人は、以前に比べ少なくなってきたそうです。再利用されてこそダイヤモンドの恒久的な価値が発揮されるのかもしれない。

台東区発、日本製が世界を救う道標

株式会社コーチャル

(株)コーチャルは、ミセス・ヤングミセス向けのニット婦人服・ニットネクタイ等を販売する商品部門と、お弁当・惣菜・パン等を扱う食品部門があり、お惣菜・パン等を扱う食品部門が販売や訪問販売などを行っています。また、お客様の要望に応じてゆくには、エリアや時間が限定される、今までの販売方法に限界を感じていました。そこで、商品部門で取り扱っている製品



通販カタログを披露するコーチャルの皆さん

カタログは、まず、顧客や近所の方等、コーチャルの製品価値を良くご存知の方を中心に配布しました。カタログが届いたお客様の中には、いつでも製品を届ける事に、喜んで下さっている方も多いそうです。

今後は、掲載商品の品揃えや価格等もお客様のご意見を伺って、改善していくと考えています。また、更に若い世代を対象とした新ブランドや日本製の良質商品なども検討しています。常に一歩先をみて日本製を大切に、国に貢献できる事業展開をしている会社です。



オープン間もない店舗の様子